

華
報

昭和三十年八月二十二日

戰
鬪
詳
報

獨立混成第四旅團砲兵後

8

戰前彼我ノ能ハ勢カ

一月十八日以降情報ニ依リ對空監視並資材兵舎廠
 舎ノ偽裝ヲ倍加シツ、火砲及彈藥ハ洞窟中ニ格納
 シ車ヲ築城ニ邁進シアリシカニ十日、十一日ト引續キ本
 上空ヲ頻繁ニ敵機偵察ノ情報ヲ受テ更ニ十一日一。
 二五丙聯隊備下合サレ計畫ニ基キ丙聯隊備ニ移行ス
 續イテ二一。空襲警報發令セラル依勿乙聯隊備
 ニ移行シ敵機未襲ニ備フ。一三二五空襲警報
 解除再乙丙聯隊備ニ移行シ對空監視ヲ嚴ニシツ、
 十二日ニ至ル

敵艦經過

〇六三五起亦直後既ニ那霸上空ニ於テ高射砲彈ノ炸裂
熾烈ヲ認ム 依而本部各中隊ニ命令受領者ヲ集メ既
備命令及退避行動ヲ口達シタル所ニ就情報ヲ防衛
司令部ヨリ受ク

情報

一〇六三五 空襲警報發令 (第三三軍司令部官)
ニ敵近接ニ依ル

海軍情報ニ依レハ與摩岳基莫一三〇度七〇科ノ地莫ニ
敵機近接(〇六三〇 要波探知器ニ依ル)

右情報ニ依リ其要旨ヲ本部各中隊ニ傳達シ直ニ乙
隊戰備ニ移行シ次ヲ命令ヲ下達シ對空警報ノ態勢カニ

移行ス

破作命第一五號

破兵機命令

第一〇六四

一〇六三五空襲警報發令セラル

ニ部隊ハ對空監視ヲ嚴シシ、乙隊戰備ニ移行シ退

蔽ヲ強化シ空襲ニ依ル火砲彈藥糧秣ノ損害ヲ

未然ニ防止ニ努ムヘシ

破兵機長

原 大尉

下達後命令受領者ヲ集メ口達警報セシム

注意事項

一 敵機在空中ハ既對ニ移動ヲ避ケ洞窟等退避處敵

ニ敵機退避後行動スヘシ

二 樹林内ト雖モ集團退避行動ヲ辦サス

戦闘経過

一月二十日〇六三五起本直機隊ニ高波三〇〇敵機十二機
南進スルヲ発見シ那覇方面ニ移ル高射砲ノ活動激烈
ナリ 次テ四機編隊ヲ以テ北飛行場及中飛行場上
空ヲ旋廻機銃掃射ス 之ニ對シ我カ高射砲機隊
破産ニ應戦シ西方平地上空ニテ〇七二〇頃敵機一機
撃墜セラルルヲ認ム
〇八三五迄ニ〇九五〇ノ情報ニ依リ我カ方ノ損害僅少ニテ
又本島全地域ニ巨ル敵機數モ亦小數ナルヲ知ル
八三〇ニ至リ次ノ要旨命令及情報ヲ要請テ受領シ
破兵隊命令ヲ下達シ夜ニ入ル

要旨命令
各機隊長ハ今夜海上監視ヲ嚴ニスル

ニ本日ノ戦闘状況ヲ司令部ニ報告スル
ニ明日敵機攻撃ヲ豫想シ對空處置ニ遺憾ナカラシム

情報

- 一 空襲警報解除 一八三〇
- 二 沖縄本島全地域
- 三 第三軍司令部
- 四 戦果ハ追テ發表ス

破作命第一六號

破兵隊命令

諸見一八四〇

- 一 一八三〇空襲警報解除セラル
- 二 部隊ハ西飛行場ニ移行シ現任務ヲ續行セントス
- 三 各部隊ハ明日敵機ノ攻撃ヲ豫想シ對空處置

二遺囑ナカラシム

砲兵隊長

原

大尉

下達法命令受領者ヲ果メ口達筆致セシム

命令下達後更ニ一九三五空襲機警報ナルモ何等確拠附近ニ
於テハ表化ヲ認メス 二〇五〇ニ至リ空襲機警報解除セラ
レ内野準備ニ移行ス
三三日ニ於ケル天候

早朝ヨリ曇勝タニテ對空監視ニ至難ヲ感心シタルモ九
〇〇頃ヨリ一三〇〇頃迄ハ快晴ニシテ所々断雲アリテ敵機
雲中ニ出入シ所在ヲ捕捉確認スル事至難ナリシ状況
ニ有リタリ 一三〇〇ヨリ過キレ頃ヨリ北方ヨリ西雲低ク
頭上ヲ覆ヒタルモ其後ハ快晴トナリ 夕一八〇〇頃ニ至リ
白雲波状ハ快晴月ニナレリ

被我ノ交戦兵力

一月三二日 戦闘参加人員

将校

一六

准士官下士官兵

二八二

合計

二九八

馬匹

二二四頭

對空射撃ノ為準備セル兵器數

小銃 三〇挺 實包各三〇發宛

敵兵力

砲兵機銃視哨ニ於テ認メタル機數

機銃機 延 三二機